

シリーズ「がんと診断されても仕事を辞めない」

(その2) 職場にがんと診断されたことを伝えましょう

●総務に伝えましょう。

がんと診断されても仕事を辞めないと決まったら、自動的に総務には病名が知られることとなります。休む間の診断書を総務に提出する必要があるからです。

総務に伝えるときに、

どのくらい有休が残っているか、休職や欠勤の仕組みはどうなっているのか、時短勤務やリハビリ出勤の制度はあるのか、などについても聞いておきましょう。

●直属の上司に伝えましょう。

休んでいる間の仕事の割り振りがあるため、直属の上司には病気のことを伝える必要があるでしょう。「総務・上司・自分・産業医や衛生管理者などの産業保健スタッフ」で話し合いの場を持つのが理想的です。

どのくらい休んだり通院したりする必要があるのかについては、その時点で一番ありうるシナリオを主治医に聞いておきましょう。

●誰まで病気のことを伝えるのかを話し合いましょう。

上記の「総務・上司・自分・産業医や衛生管理者などの産業保健スタッフ」で、話し合いのメンバー以外には病気を伝えてよいのか、伝えてよいのであればどの人にどの内容までなのか、話し合っておきましょう。

